

沖縄キリスト教短期大学
2020年度 前期
授業評価アンケート結果報告書

2020年12月14日

IRセンター

はじめに

2020年度前期の授業評価アンケートを7～8月に実施し、69科目、131クラスについて分析を行った。分析に供された評価表は、3,278件であった。評価は5段階法を採用しており、1点から5点の範囲で、5点を最高の評価としている。ただし、質問4、6においては、各数値に時間、割合をそれぞれ配置している。

学生による数値的回答による評価と自由記述による評価の2点についてみていく。

【文章内の表・グラフについて】

報告書内に記載の表やグラフは、次の1、2のことを踏まえて作成しています。

1. 短大の全ての授業を総合した評価を「全体」、教養及び各科の授業を評価したものをそれぞれ「教養教育」「英語科」「保育科」として、各選択肢の割合(%)を表で示した。
2. 1で述べた回答(選択肢)割合を、積み上げ100%横棒グラフで示し、「選択肢4及び5」と回答した割合について前年度同期との差分を横棒グラフで示した。

1. 数値的回答による評価

学科名：全体	69 科目 131 クラス	回答数：3,278
--------	---------------	-----------

▼ 全学科

	度数	5	4	3	2	1	平均	標準
I 「学習成果」の到達度の自己評価								
1.知識を理解し、身につけることができた	3278	53.5%	37.6%	7.7%	1.0%	0.2%	4.43	.691
2.技能や表現等を身につけることができた	3277	49.4%	39.1%	10.4%	0.9%	0.2%	4.36	.721
3.自身や周囲の問題提起・課題解決ができるようになった	3277	49.7%	35.3%	13.3%	1.2%	0.5%	4.32	.785
4.自ら主体的に学ぶ意欲、課題に取り組む意欲が増した	3275	59.6%	30.6%	8.6%	0.9%	0.3%	4.48	.717
II 学習態度の自己評価								
1.授業の概要や目的、成績評価の方法など理解できた	3273	60.7%	28.7%	9.2%	1.1%	0.2%	4.48	.729
2.授業を乱す行為をしなかった	3275	76.6%	18.4%	4.6%	0.3%	0.0%	4.71	.563
3.授業に積極的に参加した	3259	68.4%	22.9%	7.0%	1.6%	0.1%	4.58	.701
4.1週間あたりの予習及び復習の合計時間	3265	11.4%	5.1%	15.0%	45.4%	23.1%	2.13	1.237
5.授業での遅刻はなかった	3265	83.0%	9.8%	4.5%	1.3%	1.3%	4.71	.729
6.授業における出席状況（今日現在）	3265	63.6%	21.7%	10.2%	3.0%	1.5%	4.42	.898
III 学習環境の評価								
7.授業中、質問する機会や工夫があった	3275	62.7%	24.8%	10.1%	2.1%	0.4%	4.47	.787
8.授業の開始・終了時間は適切であった	3276	79.4%	16.3%	3.7%	0.5%	0.1%	4.74	.555
9.授業の進め方にメリハリがあった	3271	75.0%	18.7%	5.2%	0.8%	0.3%	4.67	.636
10.理解や興味を引き出す工夫されていた	3275	70.3%	21.8%	6.4%	1.2%	0.4%	4.60	.692
11.教員として相応しい発言や態度であった	3275	78.4%	16.6%	4.0%	0.7%	0.3%	4.72	.602
12.十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた	3276	76.2%	19.0%	4.3%	0.5%	0.1%	4.71	.578
13.教科書や配付資料、黒板やパソコン等の有効利用	3276	75.6%	19.2%	4.5%	0.5%	0.1%	4.70	.590
14.授業の進度は、適切であった	3274	77.0%	17.1%	4.8%	0.9%	0.2%	4.70	.618
15.学んだという達成感が得られた	3275	71.1%	21.2%	5.9%	1.3%	0.5%	4.61	.706

II－質問4の回答欄（⑤3時間以上、④3時間程度、③2時間程度、②1時間程度、①0時間）

II－質問6の回答欄（⑤皆出席、④90%程度、③80%程度、②70%程度、①60%以下）

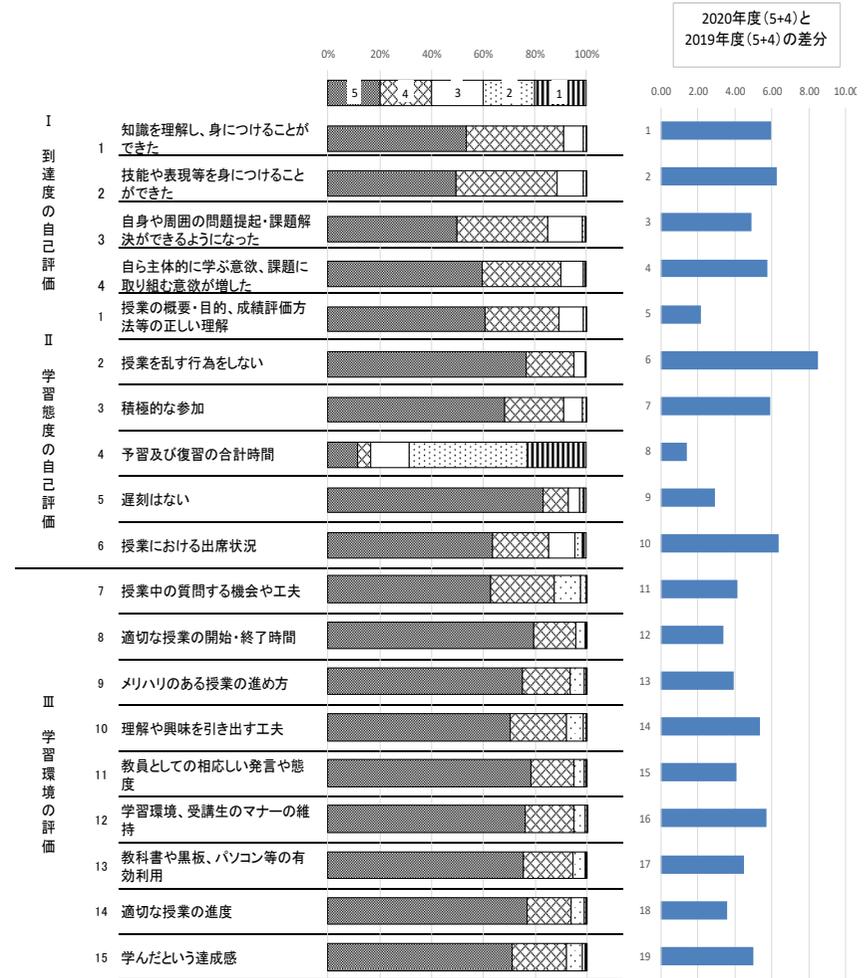


図1 各評価の割合 (全体)

図2 選択肢5及び4の割合の前年度同期との差分

学科名：教養教育	11 科目 23 クラス	回答数：574
----------	--------------	---------

▼ 教養教育

	度数	5	4	3	2	1	平均	標準
I 「学習成果」の到達度の自己評価								
1.知識を理解し、身につけることができた	574	47.9%	39.7%	9.9%	1.9%	0.5%	4.33	.772
2.技能や表現等を身につけることができた	574	43.6%	40.9%	13.1%	2.1%	0.3%	4.25	.786
3.自身や周囲の問題提起・課題解決ができるようになった	574	42.2%	36.8%	18.1%	1.9%	1.0%	4.17	.863
4.自ら主体的に学ぶ意欲、課題に取り組む意欲が増した	573	53.4%	32.8%	11.5%	1.6%	0.7%	4.37	.800
II 学習態度の自己評価								
1.授業の概要や目的、成績評価の方法など理解できた	574	57.0%	29.6%	11.0%	1.7%	0.7%	4.40	.805
2.授業を乱す行為をしなかった	573	80.6%	14.3%	4.9%	0.2%	0.0%	4.75	.542
3.授業に積極的に参加した	567	67.2%	22.0%	8.1%	2.3%	0.4%	4.53	.769
4.1週間あたりの予習及び復習の合計時間	574	10.5%	4.5%	18.3%	46.5%	20.2%	2.39	1.166
5.授業での遅刻はなかった	572	85.0%	9.6%	3.7%	0.7%	1.0%	4.77	.648
6.授業における出席状況（今日現在）	571	59.2%	23.5%	11.9%	3.3%	2.1%	4.34	.957
III 学習環境の評価								
7.授業中、質問する機会や工夫があった	574	58.9%	24.7%	12.9%	3.0%	0.5%	4.39	.857
8.授業の開始・終了時間は適切であった	574	81.2%	13.9%	4.2%	0.7%	0.0%	4.76	.557
9.授業の進め方にメリハリがあった	573	78.2%	14.8%	5.9%	1.0%	0.0%	4.70	.625
10.理解や興味を引き出す工夫されていた	573	72.3%	16.8%	9.4%	1.2%	0.3%	4.59	.738
11.教員として相応しい発言や態度であった	573	76.6%	17.3%	5.1%	1.0%	0.0%	4.69	.613
12.十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた	574	75.4%	19.5%	4.5%	0.5%	0.0%	4.70	.577
13.教科書や配付資料、黒板やパソコン等の有効利用	574	75.8%	17.9%	5.6%	0.3%	0.3%	4.68	.625
14.授業の進捗は、適切であった	573	77.7%	15.4%	5.6%	1.2%	0.2%	4.69	.648
15.学んだという達成感が得られた	574	70.7%	18.6%	7.8%	2.1%	0.7%	4.57	.782

a.学科=教養教育

II－質問4の回答欄（⑤3時間以上、④3時間程度、③2時間程度、②1時間程度、①0時間）

II－質問6の回答欄（⑤皆出席、④90%程度、③80%程度、②70%程度、①60%以下）

▼ 教養教育

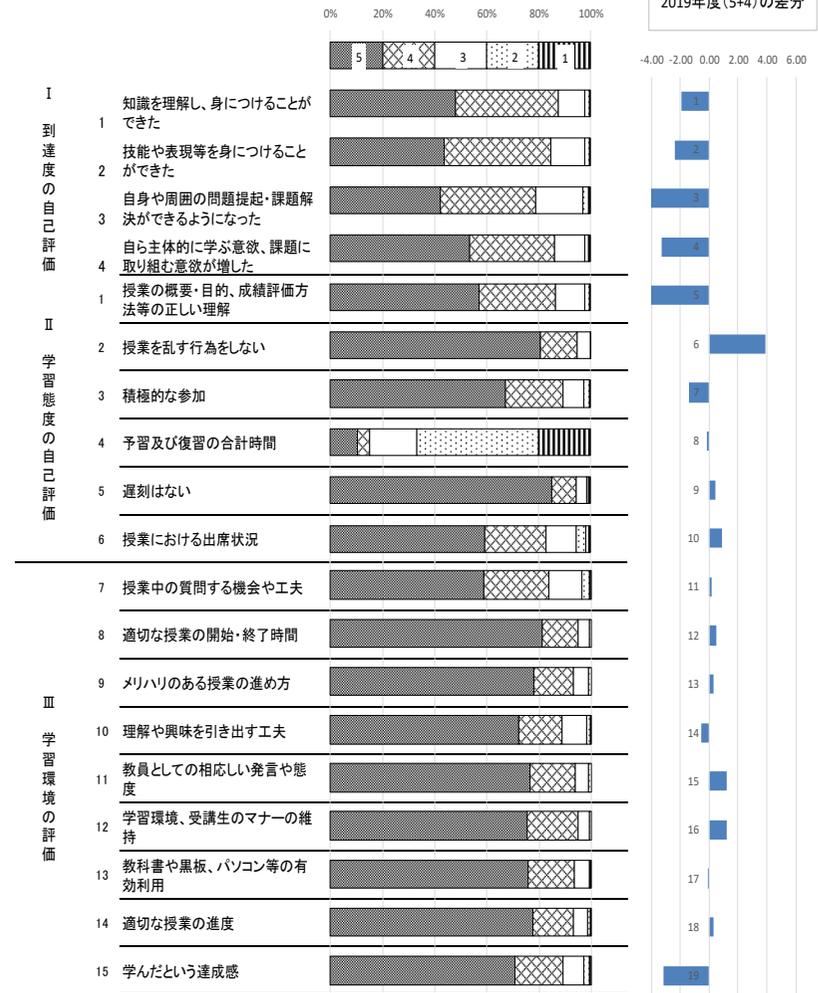


図3 各評価の割合（教養教育）

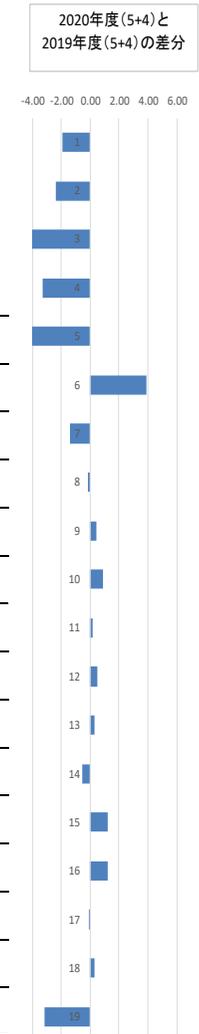


図4 選択肢5及び4の割合の前年度同期との差分

学科名：英語科	26科目 31クラス	回答数：716
---------	------------	---------

▼ 英語科

	度数	5	4	3	2	1	平均	標準
I 「学習成果」の到達度の自己評価								
1.知識を理解し、身につけることができた	716	57.3%	34.6%	6.4%	1.4%	0.3%	4.47	.704
2.技能や表現等を身につけることができた	716	52.7%	36.7%	9.1%	1.3%	0.3%	4.40	.729
3.自身や周囲の問題提起・課題解決ができるようになった	716	52.0%	33.2%	12.3%	1.8%	0.7%	4.34	.814
4.自ら主体的に学ぶ意欲、課題に取り組む意欲が増した	716	58.9%	31.7%	7.3%	1.5%	0.6%	4.47	.744
II 学習態度の自己評価								
1.授業の概要や目的、成績評価の方法など理解できた	715	62.0%	29.8%	7.7%	0.6%	0.0%	4.53	.661
2.授業を乱す行為をしなかった	715	66.6%	24.6%	8.0%	0.8%	0.0%	4.57	.675
3.授業に積極的に参加した	713	64.2%	26.6%	6.9%	2.2%	0.0%	4.53	.722
4.1週間あたりの予習及び復習の合計時間	713	12.6%	6.0%	17.8%	46.3%	17.3%	2.50	1.214
5.授業での遅刻はなかった	712	72.6%	14.6%	7.3%	2.7%	2.8%	4.52	.945
6.授業における出席状況（今日現在）	712	48.0%	29.8%	13.9%	4.8%	3.5%	4.14	1.052
III 学習環境の評価								
7.授業中、質問する機会や工夫があった	715	63.8%	24.6%	9.2%	1.5%	0.8%	4.49	.792
8.授業の開始・終了時間は適切であった	714	78.0%	16.9%	4.1%	0.6%	0.4%	4.72	.607
9.授業の進め方にメリハリがあった	714	73.7%	19.7%	4.9%	0.8%	0.8%	4.65	.691
10.理解や興味を引き出すよう工夫されていた	714	68.8%	22.4%	7.3%	0.7%	0.8%	4.58	.730
11.教員として相応しい発言や態度であった	715	76.8%	16.6%	3.9%	1.4%	1.3%	4.66	.733
12.十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた	715	73.8%	20.4%	4.8%	0.7%	0.3%	4.67	.626
13.教科書や配付資料、黒板やパソコン等の有効利用	715	73.6%	20.3%	5.3%	0.6%	0.3%	4.66	.630
14.授業の進度は、適切であった	715	73.1%	19.0%	5.7%	1.8%	0.3%	4.63	.700
15.学んだという達成感が得られた	714	66.0%	24.2%	7.3%	1.5%	1.0%	4.53	.778

a.学科=英語科

II－質問4の回答欄（⑤3時間以上、④3時間程度、③2時間程度、②1時間程度、①0時間）

II－質問6の回答欄（⑤皆出席、④90%程度、③80%程度、②70%程度、①60%以下）

▼ 英語科

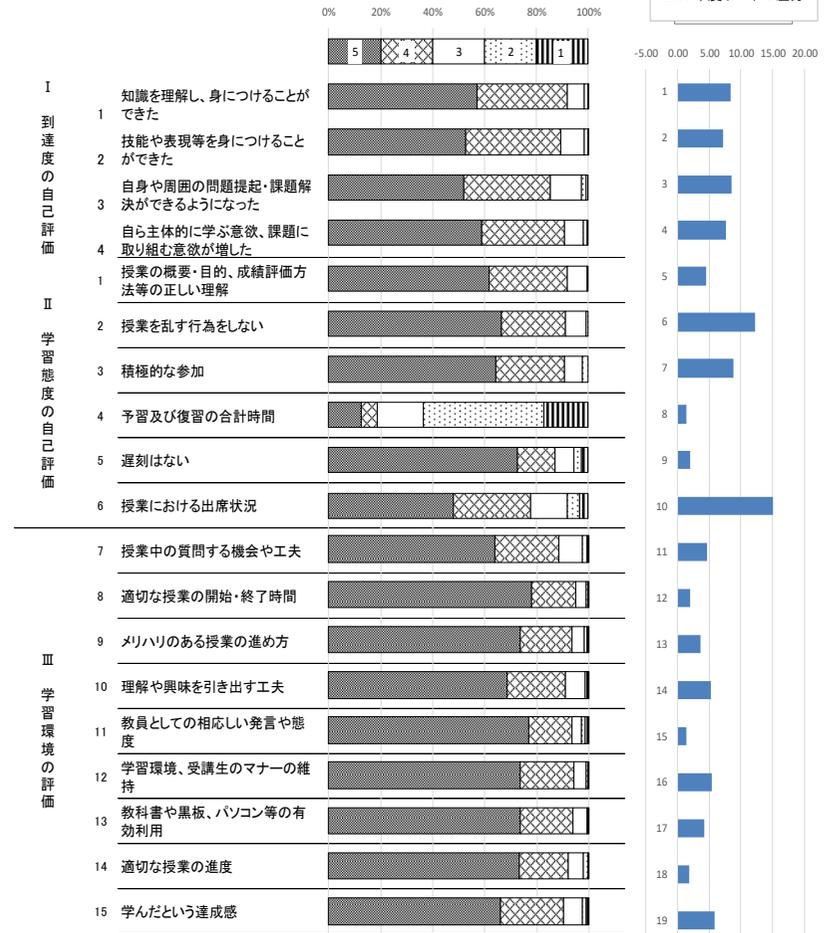


図5 各評価の割合（英語科）

2020年度(5+4)と
2019年度(5+4)の差分

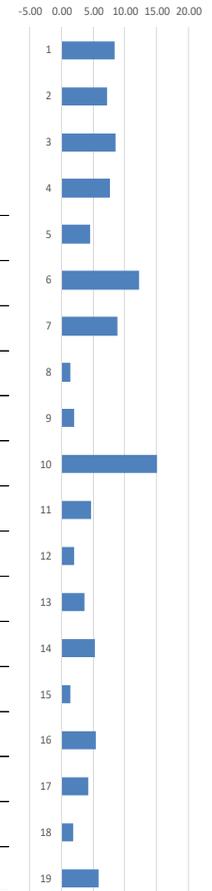


図6 選択肢5及び4の割合の前年度同期との差分

学科名：保育科	32科目 77クラス	回答数：1988
---------	------------	----------

▼ 保育科

	度数	5	4	3	2	1	平均	標準
I 「学習成果」の到達度の自己評価								
1.知識を理解し、身につけることができた	1988	53.8%	38.1%	7.5%	0.6%	0.0%	4.45	.657
2.技能や表現等を身につけることができた	1987	49.9%	39.5%	10.1%	0.5%	0.2%	4.38	.695
3.自身や周囲の問題提起・課題解決ができるようになった	1987	51.0%	35.6%	12.3%	0.8%	0.3%	4.36	.744
4.自ら主体的に学ぶ意欲、課題に取り組む意欲が増した	1986	61.6%	29.6%	8.3%	0.4%	0.2%	4.52	.676
II 学習態度の自己評価								
1.授業の概要や目的、成績評価の方法など理解できた	1984	61.3%	28.1%	9.2%	1.2%	0.2%	4.49	.727
2.授業を乱す行為をしなかった	1987	79.1%	17.3%	3.4%	0.2%	0.0%	4.75	.515
3.授業に積極的に参加した	1979	70.2%	21.8%	6.7%	1.2%	0.1%	4.61	.671
4.1週間あたりの予習及び復習の合計時間	1978	11.2%	4.9%	13.0%	44.8%	26.0%	2.30	1.226
5.授業での遅刻はなかった	1981	86.2%	8.2%	3.8%	1.0%	0.9%	4.78	.644
6.授業における出席状況（今日現在）	1982	70.4%	18.4%	8.4%	2.3%	0.6%	4.56	.786
III 学習環境の評価								
7.授業中、質問する機会や工夫があった	1986	63.4%	24.8%	9.6%	2.0%	0.2%	4.49	.762
8.授業の開始・終了時間は適切であった	1988	79.4%	16.8%	3.4%	0.4%	0.1%	4.75	.533
9.授業の進め方にメリハリがあった	1984	74.5%	19.5%	5.1%	0.7%	0.2%	4.68	.618
10.理解や興味を引き出すよう工夫されていた	1988	70.3%	23.0%	5.1%	1.3%	0.2%	4.62	.664
11.教員として相応しい発言や態度であった	1987	79.4%	16.4%	3.7%	0.4%	0.1%	4.75	.542
12.十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた	1987	77.2%	18.3%	4.1%	0.4%	0.1%	4.72	.559
13.教科書や配付資料、黒板やパソコン等の有効利用	1987	76.3%	19.1%	4.0%	0.6%	0.0%	4.71	.563
14.授業の進度は、適切であった	1986	78.2%	16.9%	4.3%	0.6%	0.1%	4.73	.575
15.学んだという達成感が得られた	1987	73.0%	20.9%	4.8%	1.1%	0.3%	4.65	.650

a.学科=保育科

II－質問4の回答欄（⑤3時間以上、④3時間程度、③2時間程度、②1時間程度、①0時間）

II－質問6の回答欄（⑤皆出席、④90%程度、③80%程度、②70%程度、①60%以下）

▼ 保育科

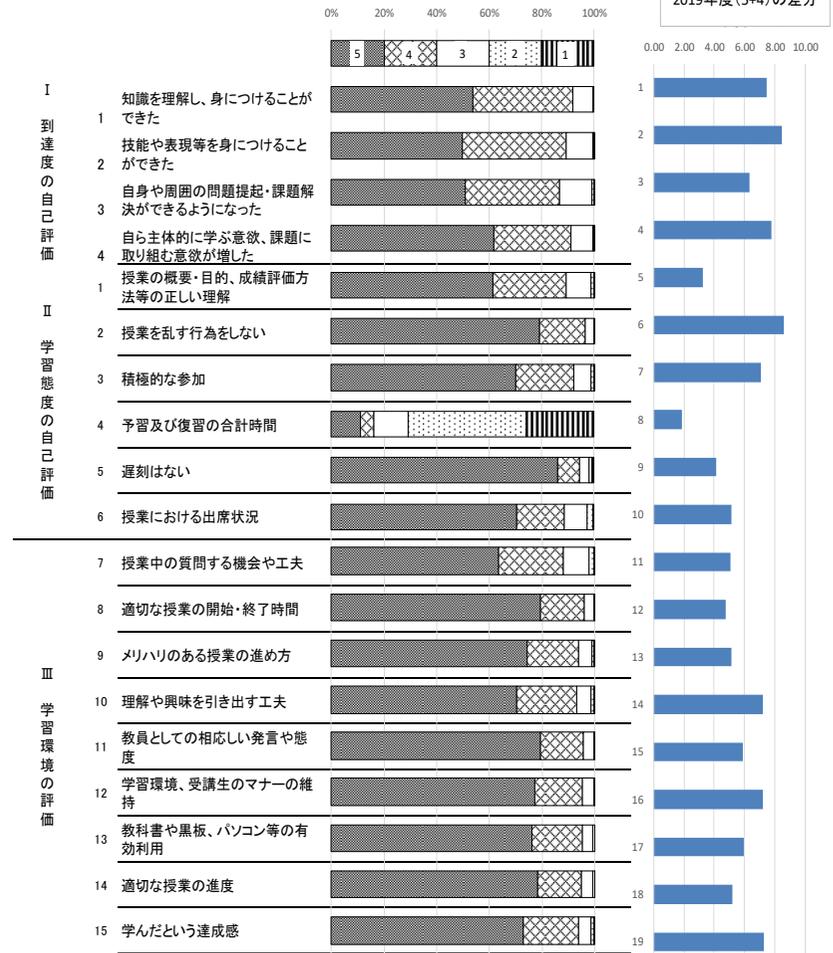


図7 各評価の割合（保育科）

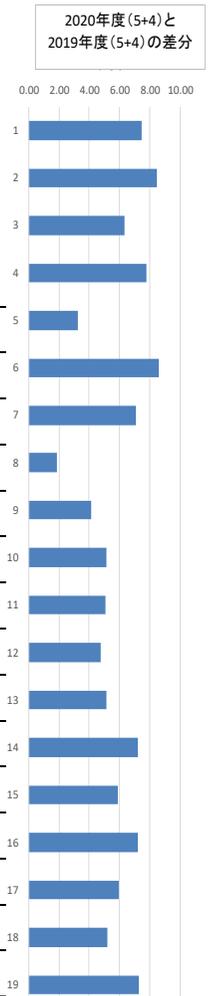


図8 選択肢5及び4の割合の前年度同期との差分

2. 自由記述による評価

学生の自由記述をテキストマイニングにより単語の出現頻度、共起キーワードを示すことで、学生の授業に対する考えを視覚化した。今回は「授業評価アンケート」に対する記述のため、「授業」「先生」という単語は当然頻出するものとして、その他の単語について着目する。

単語の出現頻度：文章中出现する単語の頻出度を表にしたもの。「スコア」の大きさは、文書の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを表しています。通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」など、どのような種類の文書にも現れやすいような単語についてはスコアが低めになる。

共起キーワード：文章中出现する単語の、出現パターンが似たものを線で結んだ図。出現数が多い語ほど大きく、また共起¹の程度が強い語ほど太い線で描画されます。

¹共起とは、一文（改行や「。」などで区切られた各文）の中に、単語のセットが同時に出現するという意味です。共起回数は、一緒に出現

した回数を指します。

【教養教育】

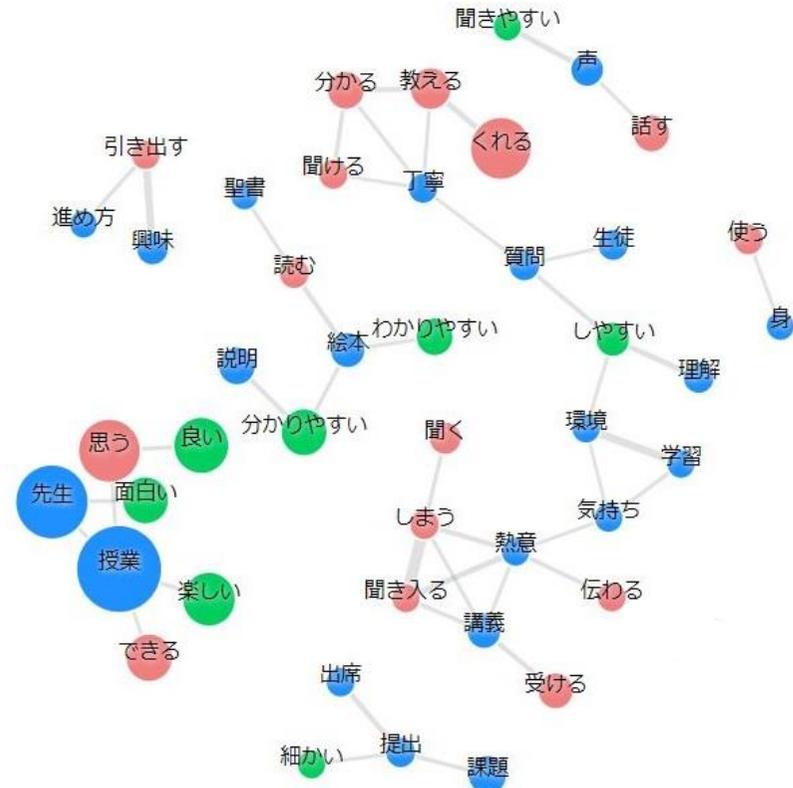
< 単語の出現頻度 >

名詞	スコア	出現頻度
授業	226.31	133
先生	66.06	105
内容	12.46	30
課題	20.42	29
毎回	10.16	27
説明	15.00	26
絵本	36.10	21
講義	28.05	19
声	1.31	17
興味	3.22	15
質問	4.54	13
理解	2.57	13
生徒	11.23	12
提出	7.92	11
パソコン	3.07	11

形容詞	スコア	出現頻度
良い	3.74	53
楽しい	5.43	49
分かりやすい	76.19	37
面白い	5.09	37
いい	0.37	22
わかりやすい	22.20	21
しやすい	11.71	15
ほしい	0.53	13
多い	0.42	12
優しい	1.13	11
おもしろい	2.39	9
難しい	0.65	9
聞き取りやすい	30.91	8
うれしい	1.00	7
すごい	0.11	7

動詞	スコア	出現頻度
思う	2.39	65
くれる	4.66	63
できる	1.82	38
教える	4.75	28
学ぶ	21.01	23
分かる	1.66	21
話す	2.82	20
受ける	4.01	18
感じる	0.78	12
聞く	0.35	12
学べる	17.76	9
読む	0.40	9
使う	0.19	9
聞ける	2.22	8
しまう	0.10	8

< 共起キーワード >



学生による授業評価アンケート

調査期間：前期7月／後期1月 調査対象：全クラス

学生の皆さんへ

この調査は、本学の教育活動を充実・改善するための基礎資料を得るために、全クラスについて実施されるものです。なお、この調査データはコンピュータにより統計処理され、担当教員に個々の生データを閲覧させることはなく、「成績」に影響を及ぼすようなこともありません。また、プライバシー保護については十分留意しますので、率直かつ真摯な評価をお願いします。(学籍番号の記入欄は、学生が自分の意見に責任をもって記述してもらうために設けています。ただし、個人を特定するものではありません。)

集計されたデータは、担当教員からのコメントを添えて学内HPで公表し、全学生・教職員が確認する事ができます。学生の皆さんは、他の学生の授業履修の参考にもなりますので責任を持った記述をお願いします。

※記入終了後、指名された学生が回収します。 提出先：教務課

科目名	クラス名	性別	男	女
所属学科	1. 英語科 2. 保育科 3. 科目等履修生	学年	1年	2年
学籍番号	※差し支えなければ学籍番号を記入してください。			

I 「学習成果」の到達度の自己評価

この授業には、みなさんが卒業までに獲得する力(=学習成果)につながる「到達目標」があります。その到達目標において、以下の項目を自己評価してください。該当しない項目については「①全く当てはまらない」でも構いません。

評価基準：5 とても良く当てはまる 4 当てはまる 3 どちらともいえない 2 あまり当てはまらない 1 全く当てはまらない

自己評価項目	評 価 欄
1. この授業内で説明された知識を理解し、身につけることができた。(知識・理解)	5 4 3 2 1
2. ルーブリックに示されている技能や表現等を身につけることができた。(技能・表現)	5 4 3 2 1
3. この授業で学習した知識や技能を活用して、あなた自身や周囲の、問題提起や課題解決ができるようになった。(思考・判断)	5 4 3 2 1
4. この授業の分野に対する関心が高まり、自ら主体的に学ぶ意欲、または課題に取り組む意欲が増した。(意欲・関心)	5 4 3 2 1

<Ⅱ及びⅢの評価方法>

・設問1～15は、評価欄のあてはまる数字（1～5）に○をつけてください。

評価基準：5 とても良く当てはまる 4 当てはまる 3 どちらともいえない 2 あまり当てはまらない 1 全く当てはまらない

Ⅱ 学習態度の自己評価

評 価 欄

1. 初回のオリエンテーションを聞き、授業の概要や目的、成績評価の方法などについて正しく理解していた。	5	4	3	2	1
2. 私語や携帯電話の使用など、授業を乱す行為をしなかった。	5	4	3	2	1
3. この授業に、積極的に参加した。	5	4	3	2	1
4. この授業における1週間あたりの予習・復習・課題を含めた授業外学習時間にあてた時間を下記の選択肢から選んで下さい。 (⑤3時間以上、④3時間程度、③2時間程度、②1時間程度、①0時間)	5	4	3	2	1
5. この授業での遅刻はなかった。	5	4	3	2	1
6. この授業における出席状況（今日現在）を下記の選択肢の中から選んで下さい。 (⑤皆出席、④90%程度、③80%程度、②70%程度、①60%以下)	5	4	3	2	1

Ⅲ 学習環境の評価

評 価 欄

7. 授業中、分からないことや理解できなかったことを質問する機会や工夫があった。	5	4	3	2	1
8. 授業の開始・終了時間は適切であった。	5	4	3	2	1
9. 授業の進め方にメリハリ（声の大小、説明内容等）があった。	5	4	3	2	1
10. 理解や興味を引き出すよう工夫されていた。	5	4	3	2	1
11. 教員として相応しい発言や態度であった。	5	4	3	2	1
12. 受講するための十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた。	5	4	3	2	1
13. 教科書や配布資料、その他教材、黒板やパソコン等が有効に使われていた。	5	4	3	2	1
14. 授業の進度は、適切であった。	5	4	3	2	1
15. 学んだという達成感が得られた。	5	4	3	2	1

Ⅳ 改善のための提言

15. この授業を振り返り、学習環境（担当教員も含む）の良かった点・改善点を提言してください。（自由記述）

.....

.....

.....

16. 担当教員からの質問（ ）

.....

.....

.....